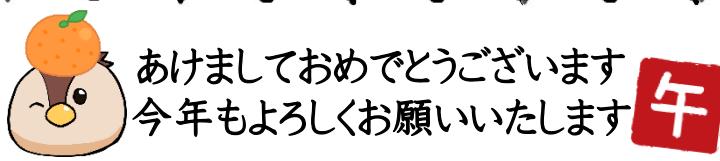


Ichikai Vol.163 2026.1

図書館通信



1月のイベント

状況により変更・中止する場合はホームページやXで随時お知らせします。

●正月レシートくじ

日時：1月4日（日）※景品がなくなり次第終了
内容：貸出レシートに当たりが出た方に、図書館で購入している雑誌付録のカレンダー・手帳をプレゼントします。なくなり次第終了ですのでぜひお早めにどうぞ。（1日1回まで）

●市貝図書館 かるた大会

日時：1月10日（土）14:00～（1時間程度）

場所：1階 おはなしコーナー

内容：市貝図書館所蔵のかるたを使ってかるた遊びを楽しめます。優勝者には賞状とプレゼントをさしあげます。（参加者全員に参加賞あり）

対象：小学生～大人（小3までは保護者同伴）

定員：20名

受付：12月6日（土）から受付中
※定員になり次第終了

申込：カウンター・お電話

●ダンボの会のおはなし会

日時：1月25日（日）10:30～（50分程度）

場所：1階 おはなしコーナー

内容：小さい子向けの絵本の読み聞かせです。
お気軽にご参加ください。

お問い合わせ：市貝図書館 ☎68-4380

市貝町立図書館

〒321-3423

栃木県芳賀郡市貝町市塙147

TEL 0285-68-4380

URL <https://www.library.ichikai.tochigi.jp/>



ホームページ
ページは
こちら



ホームページでも図書館通信を見ることができます



Xでも
情報配信中！

市貝町立図書館
『いっとくん』
@ittokun_ichikai



★開館時間 9:30～19:00★



★利用者アンケートに
ご協力お願いします★



★ご家庭の不用本を募集中です★

1月4日（日）～1月31日（土）の期間、館内において図書館アンケートを実施いたします。
皆さまの意見を参考に、さらに利用しやすい図書館を目指します。ご意見ご要望お待ちいたしております。

いただいたご意見には、担当スタッフの回答を添えて次年度に館内に掲示する予定です。



2月21日（土）・2月22日（日）に「古本リサイクル市」を開催します。「もう読まないけど捨てるのは惜しい」本がご家庭にある方は、募集期間内に図書館までお持ちください。

募集期間：1月31日（土）まで

募集図書：一般書・児童書・コミックス

※状態の悪いもの（汚れ・カビ・破損・虫食いなど）はお受け取りできません。

※寄贈届のご記入をお願いいたします。

※寄贈いただいた図書は原則として返却できません



図書館カレンダー

1月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

← 年始休館日 →

2月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28

…休館日

季節の工作会「節分工作&豆まきあそび」の参加者を募集します



日時：2月1日（日）14:00～
場所：2階 企画研修室
内容：「起き上がりこぼし」の工作を楽しめます。
少しだけ福豆のプレゼントもあります。
対象：小学生まで（小3までは保護者同伴）
定員：10名
受付：1月4日（日）～※定員になり次第終了
申込：カウンター・お電話



芥川賞・直木賞（2025年下半期）候補作発表

第174回 芥川賞・直木賞（2025年下半期）の候補作が発表されました。

7月（上半期）は、ともに「該当者なし」となった同賞。

今回はどの作品が受賞するでしょうか。ぜひ読んでみてください。

※出版されていない作品・図書館で所蔵がない作品に関しては準備が整い次第購入する予定です。

★芥川賞ノミネート作

「貝殻航路」

久栖 博季//著（文學界2025年12月号）

「へび」

坂崎 かおる//著（文學界2025年10月号）

「BOXBOXBOXBOXBOX」

坂本 湾//著（河出書房新社）

「時の家」

鳥山 まこと//著（講談社）

「叫び」

畠山 丑雄//著（新潮2025年12月号）

★直木賞ノミネート作

「カフェーの帰り道」

嶋津 輝//著（東京創元社）

「白鷺立つ」

住田 祐//著（文藝春秋）

「神都の証人」

大門 剛明//著（講談社）

「家族」

葉真中 頭//著（文藝春秋）

「女王様の電話番」

渡辺 優//著（集英社）

受賞作コーナーは
新刊コーナー奥です。
1階
ぜひご覧ください☆



今月のスタッフおすすめ本

一般書

「ほどよく忘れて生きていく」

藤井 英子//著
(サンマーク出版)

この本の著者である藤井英子先生は、89歳で開院し、今なお現役の漢方心療内科医として多くの患者さんと共にいます。その中で先生は、頑張り過ぎず「ほどよく忘れて」、自分の「ほどよきところ」をみつけて生きてと語りかけています。

本文にある「後悔しない、競争しない、我慢しすぎない、心はカラッと、人づきあいはサラッと」等、先生のしなやかな言葉と生き方が、今を生きる私たちの心にそっと寄り添うそんな一冊です。

(スタッフ：ぴっぴ日和)

児童書（低学年向け）

「ちいさな はくさい」

くどう なおこ//さく ほてはま たかし//え
(小峰書店)

丘の上に佇む柿の木は、根元に広がる畑の野菜たちを、毎年、大事に見守っています。この年は白菜。ある日、柿の木は、畑から出て芽吹いた白菜の声を受け取ります。瑞々しい小さな白菜と優しい柿の木の、限りなく純真で清らかな世界。こんな世界が何処かで存在してくれたらと、祈るように思います。

(スタッフ：りんごあん)